



平成 29 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 電 算
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 轟 一 太
(コード番号：3640 東証一部)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 丸 山 沢 水
(TEL. 026-224-6666)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 4 月 17 日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日の「平成 28 年 3 月期決算短信」で公表いたしました平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

○業績予想の修正について

1. 業績予想の修正

- (1) 平成 29 年 3 月期通期の個別業績予想数値の修正
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,200	380	399	266	48.58
今回修正予想 (B)	14,790	580	595	415	76.03
増減額 (B) - (A)	590	200	196	149	
増減率 (%)	4.2	52.6	49.1	56.0	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	14,226	600	616	969	177.12

2. 修正の理由

(1) 通期の業績予想

公共分野においては、次期総合行政情報システムの研究開発費の増加があったものの、総務省より、地方自治体に対して個人情報保護のための情報セキュリティ対策の抜本的強化が求められたこともあり、当期は県や市町村の情報セキュリティ強靱化に関する作業が新たに発生し売上及び利益が順調に伸展したことと合わせ、番号制度、臨時福祉給付金及び子ども子育て支援制度改正（利用者負担一部軽減）等の法制度改正対応も利益に貢献しました。また、産業分野においては、電子カルテ等の病院情報システムの更改、新聞広告管理システム及びリースタートシステム等のパッケージシステムの導入が順調に進みました。

以上の状況から、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも前回発表の業績予想を上回る見込みとなり、通期の業績予想を修正いたしました。

(注) 業績予想に関する留意事項

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報等に基づいて算定しておりますが、多分に不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績結果は、状況の変化など様々な要因によって、上記の予想・見込みとは異なる場合がありますので、ご承知おきください。

以上